

第1回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年 6月23日(木) 16:00~17:00
- 3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	林 新太郎	同窓会長
副会長	久保寺 美佳	地域の住民
会 員	長屋 道幸	保護者(本校PTA会長)
	清水由美子	養老町議会議員
	野崎 道夫	特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長
	伊藤由美子	女性農業経営アドバイザー
	宇納 光好	藤井ハウス産業(株)総務部長
学 校 側	石黒 比利	校長
	西脇 淳子	事務部長
	大矢 英樹	教頭
	奈波 宏和	教頭
	土本 繁	教務主任
	戸田 京介	生徒指導部長
	水谷 孝彦	進路指導部長
	大野 宏	総合学科部長
	長谷川 緑	農場長
	桂川 法生	寮務部長

5 会議の概要

(1) 学校長挨拶

- ・学校運営の基本方針
- ・学校組織編制

(2) 意見交流

- 意見1 学校づくりのためのスローガン【ふるさと西濃に根を張り、「ふるさとで育ち、ふるさとを支える」人材を育てる学校】に向けて、引き続きしっかり取り組んでほしい。各所で、本校は何事にも粘り強いという評価を得ている。
- 意見2 市場への出力としてオンラインを活用し、ネット販売等にも挑戦してはどうか。
- 意見3 ホームページの改善にも取り組んではどうか。

- 意見4 様々な活動が見られるが、これらは生徒からの自主的な活動か、それとも学校との話し合いによるものか。生徒の自主性に期待したい。そのための指導助言を今後も丁寧に行ってほしい。
- 意見5 今後も、地域や岐阜大学との連携を深め、地域からアイデアを得ながら、地域とともに学ぶ姿勢を大切にしてほしい。
→地域との連携を目的とした立案を通して、プロジェクト農業高校として、生徒とともに活動し課題解決していくことが、相乗効果として表れてくるはずである。
- 意見6 キャリア教育事業（文書作成講座、面接指導、各種ガイダンス等）は充実しているものの、まだまだ生徒に受動的な部分があり、いざ進路選択となると自己選択力が弱い。
→進路指導の課題として、「選択力を身に付け、自らの選択に対して自己責任のとれる生徒」の育成に努めねばならない。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。昨年度、学校創立百周年を迎え、今後の100年に向かって新たな視点で本校を考えていこうという意見交換会となった。

中学生にもわかりやすい学校の魅力発信、地元企業との連携強化について取組を強化し、今後も、地域と協働して目標達成に向けて行動できる地域の担い手となる生徒を育てるべく、次の100年に向けて魅力ある学校づくりを推進していきたい。